

第4回 (仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想・基本計画策定懇談会 資料

1. 整備・管理運営について 1
2. 導入施設と施設規模 2
3. 導入施設の事例 5
4. 導入施設から想定される利用シーン 10

1. 整備・管理運営について

1-1. 道の駅事業における整備・管理運営手法

近年、道の駅事業は行政による整備・管理運営である従来の公共事業の方式のみではなく、官民連携による方式が増加しています。道の駅の**建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行う**ことにより、**民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図る**ものであり、指定管理者制度や**PFI (Private Finance Initiative)** など、様々な方式があります。

現段階

事業の段階		構想・計画	設計	工事	管理・運営
従来の公共事業	実施	上三川町 受注業者	上三川町 受注業者	上三川町 受注業者	上三川町
	金銭負担	上三川町	上三川町	上三川町	上三川町
指定管理者制度	実施	上三川町 受注業者	上三川町 受注業者	上三川町 受注業者	指定管理者
	金銭負担	上三川町	上三川町	上三川町	上三川町
PFI	実施	上三川町 受注業者	PFI事業者 (SPC)	PFI事業者 (SPC)	PFI事業者 (SPC)
	金銭負担	上三川町	※PFI事業者 (SPC)	※PFI事業者 (SPC)	※PFI事業者 (SPC)

※PFI事業者の金銭負担（独立採算事業部分は除く）については、施設供用開始以降の事業運営期間にわたり、割賦払いで自治体より支払われます。

1-2. PFI手法のメリット・デメリット

PFI手法のメリット・デメリットを行政視点、民間視点で示します。行政視点のメリットとして**サービス水準の向上や金銭的負担の削減等**が挙げられます。しかし、デメリットの1つとして、民間事業者による整備・管理運営となるため、採算性等を踏まえ**基本構想・基本計画で定めた内容の全ては反映されない場合があります**。

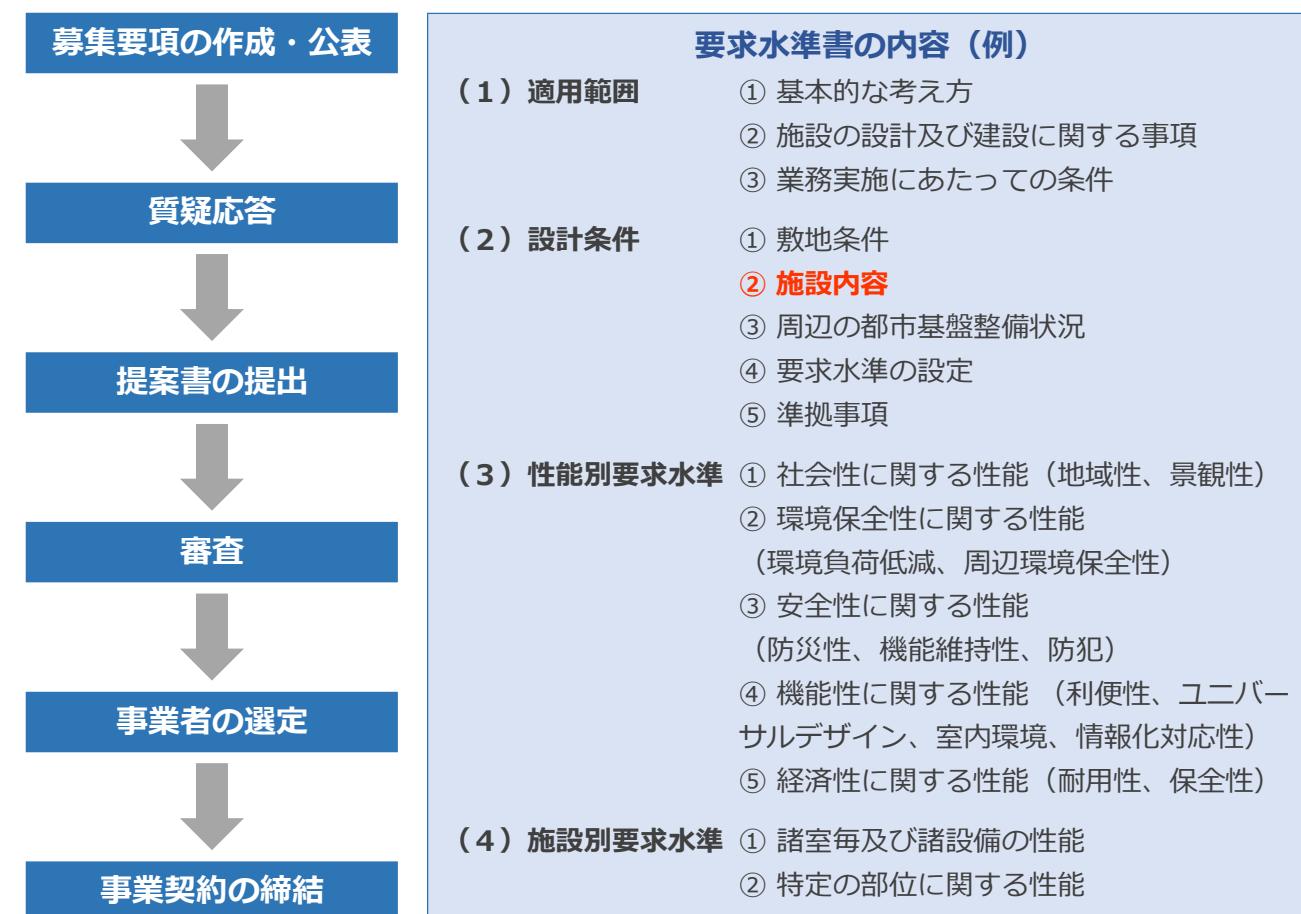
	メリット	デメリット
行政視点	<ul style="list-style-type: none"> ● 競争原理の導入による事業コストの縮減 ● 民間のノウハウ活用によるサービス水準の向上 ● 財政支出の平準化 ● 事業に関わるリスクや負担の軽減化 ● トータルコストや費用対効果の把握が行いやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入する方式によっては事業受注者が主体となるため、事業内容や運営等のコントロールが難しくなる ● 単年度型の予算方式との整合性や長期的な負担への配慮が必要となる ● 事業発案から事業者選定までの手続きにコストと時間がかかる
民間視点	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共事業の領域における新たなビジネスチャンスの発掘につながる ● PFI事業への取組を通じた、新たな技術開発やノウハウの蓄積につながる ● 比較的長期間、大型案件の受注につながる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業への応募から決定までに時間とコストがかかる（応募のための労力や費用が必要） ● 長期的な事業展開に伴うリスクが発生する

1-3. PFI事業者選定までの流れ

PFI事業者選定までの流れを以下に示します。

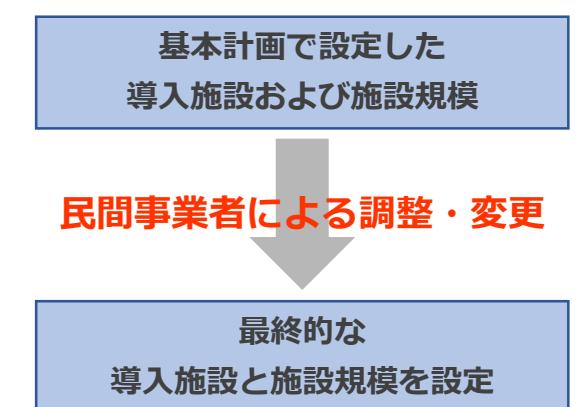
募集要項の作成・公表後、質疑応答を経て、民間事業者からの提案書の提出を募ります。その提案書およびプレゼンテーション・民間事業者の経営状況や実績等、様々な観点より提案事業者を審査し、選定、事業契約を締結します。

民間事業者の提案は募集要項に基づいて行われるため、募集要項（とくに要求水準書）で上三川町の意向に沿った条件を定める必要があります。ただし、**多くの条件を設定することにより、民間事業者の事業の自由度を狭める**ことになり得ます。



1-4. 基本計画で設定した導入施設・施設規模の調整・変更

これまで示したPFI手法により道の駅事業を実施する場合、**民間事業者の収益性の観点や維持管理コストの観点等**により、今回の**基本計画で設定した導入施設や施設規模など、調整・変更の可能性**があります。



2. 導入施設と施設規模

2-1. 今までの検討と導入施設（案）

利用者ニーズ調査結果

WEBアンケート（3月実施）

- 産地直売所・販売所または市場的な施設
- お土産等の物販所・売店
- 飲食店（食堂・レストラン・カフェ等）
- 休憩所（屋内）
- 温浴施設

小学校保護者アンケート

- 水遊び広場
- 遊具
- アスレチック
- 体験教室・講座・創作体験施設
- 小中高生の居場所となる施設

町民アンケート

- 温浴施設
- 体験教室・講座・創作体験教室
- 遊具
- 水遊び広場
- 広場・緑地
- キャンプ・バーベキュー場

子育て世代インタビュー

- 子どもの遊び場
- カフェ
- 公園や芝生広場
- 休憩施設
- 個室の授乳室やおむつ交換台

基本構想・基本計画策定のための会議体

基本構想・基本計画策定ワーキンググループ

- インターパークとの連携
- 大型遊具
- 他ではできない体験
- 水遊び広場
- ドッグラン
- おさかな市場
- コンテナハウスの活用
- 公共交通・モビリティハブ
- 地域デザインセンター
- コンビニエンスストア
- イベント広場
- 日産名車展示
- 折り紙教室（発信拠点）
- 大型モニュメント
- 防災拠点（防災道の駅）
- RVパーク

基本構想・基本計画策定懇談会

- 新鮮な農産物や海産物（大洗などから運搬）を販売・ブランド化する施設
- 地元食材等を使った食品を販売する施設
- 地元産品等を使った加工品・土産品を製造・販売する施設
- 町全体への周遊を促すPR施設
- 日産自動車と連携する施設
- ものづくり体験ができる施設
- ORIGAMIの魅力を発信する施設
- キッチンカー・チャレンジショップ 等

基本構想における導入機能

休憩機能

物販機能

体験機能

地域拠点機能

滞在機能

災害支援機能

情報発信機能

飲食機能

産業振興機能

交通結節機能

レクリエーション機能

導入施設（案）

- ① 農産物直売所（加工品・土産品販売等を含む）
- ② おさかな市場
- ③ コンビニエンスストア
- ④ レストラン・カフェ
- ⑤ 休憩・情報発信施設
- ⑥ トイレ
- ⑦ 公共交通・モビリティハブ
- ⑧ 地域デザインセンター
- ⑨ 日産名車展示
- ⑩ 折り紙教室（発信拠点）
- ⑪ 水遊び広場
- ⑫ 大型遊具（大型モニュメントを兼ねる）
- ⑬ イベント広場
- ⑭ ドッグラン
- ⑮ RVパーク※
- ⑯ コンテナハウスの活用
- ⑰ その他必要な導入施設
- ⑱ 駐車場
- ⑲ 調整池
- ⑳ 緑地

※RVパークとは：快適に安心して車中泊が出来る場所を提供するために、日本RV協会が定めた条件を満たし、認定された車中泊スペースです。

2. 導入施設と施設規模

2-2. 導入施設（案）の概要と想定規模（建物）

※高速道路のサービスエリアに設ける休憩用建築施設の一般的な技術的基準を定めたもの

導入機能	導入施設	施設の概要	面積	面積の根拠
物販機能	①農産物直売所 (加工品・土産品販売等を含む)	・町や周辺地域の農産物や、加工品・土産品等を販売	約900㎡	「※設計要領第六集 建築施設編（東・中・西日本高速道路株式会社、令和5年7月）」より設定した場合は300㎡だが、多彩な展開が図れるよう、農産物・土産品・加工品の3種の一体的な販売を考慮し、基準の約3倍程度と想定
	②おさかな市場	・友好都市である大洗町などの新鮮な海産物を販売	約300㎡	「※設計要領第六集 建築施設編（東・中・西日本高速道路株式会社、令和5年7月）」より設定
	③コンビニエンスストア	・24時間利用できるコンビニエンスストア ・必要に応じ、医薬品を販売 ・災害時協定の締結 (非常時の食料配布や、物資保管場所の提供)	約200㎡	コンビニエンスストア3社の出店ガイドラインにより設定 ファミリーマート：小スペースでも出店可能 セブンイレブン：50～70坪（約165～230㎡） ローソン：40～60坪以上（約130～200㎡）
飲食機能	④レストラン・カフェ	・町や周辺地域の食材を使った料理の提供	約800㎡	「※設計要領第六集 建築施設編（東・中・西日本高速道路株式会社、令和5年7月）」より設定
情報発信・休憩機能	⑤休憩・情報発信施設	・ベンチやテーブルの設置 ・町の観光、暮らし、産業等の情報発信 ・町全体への周遊を促すPRやイベント情報の提供	約250㎡	「※設計要領第六集 建築施設編（東・中・西日本高速道路株式会社、令和5年7月）」より設定
	⑥トイレ	・24時間利用可能なトイレ	約500㎡	「※設計要領第六集 建築施設編（東・中・西日本高速道路株式会社、令和5年7月）」より設定
交通結節機能	⑦公共交通・モビリティハブ	・公共交通や北関東自動車との連携 ・次世代モビリティの導入 ・インターパークとの連携	—	
地域拠点機能	⑧地域デザインセンター	・住民活動の拠点 ・大学などと連携した活動・研究拠点 ・子供、学生、社会人など、様々な年代が集い関わりを持てる場の提供	約120㎡	50人程度の収容を想定するため、「道の駅 開国下田みなと」会議室1（36.31㎡で16人収容可能）の3倍程度とする
産業振興機能	⑨日産名車展示	・日産自動車の展示 ・パネルやモニターを使った展示車等の紹介	約200㎡	3台の展示を想定 車両1台当たりの面積を11.5㎡（2.3m×5.0m）、通路幅を1.8mと想定
体験機能	⑩折り紙教室 (発信拠点)	・折り紙の体験教室、折り紙の魅力発信拠点 ・イベント・コンテストなどの実施	約100㎡	1コマで40人程度の収容を想定するため、「道の駅 開国下田みなと」会議室2（55.93㎡で24人収容可能）の2倍程度とする
必要面積			3,370㎡	上記①～⑩の面積の合計
想定建物面積			4,381㎡	通路等を考慮し、必要面積の1.3倍を想定

2. 導入施設と施設規模

2-3. 導入施設（案）の概要と想定規模（外構）

導入機能	導入施設	施設の概要	面積	面積の根拠
レクリエーション 機能	⑪水遊び広場	<ul style="list-style-type: none"> 水遊びの場となる「噴水」などの設置 夜間はライトアップ、イルミネーション、音楽などでスポット化 	約300㎡	「道の駅 ららん藤岡」のふれあい広場を参考
	⑫大型遊具 (大型モニュメントを兼ねる)	<ul style="list-style-type: none"> 無料遊具+有料遊具（空中アスレチックなど） インクルーシブ遊具（障がいの有無を問わずみんなが遊べるもの） 	約350㎡	「道の駅 柿の郷くどやま」のアミューズメント広場を参考
	⑬イベント広場	<ul style="list-style-type: none"> 夏場の暑さ対策（屋根、ベンチ、ミストシャワー、スプリンクラーなど） イベント開催しやすい形態（展示、露店、キッチンカー、フリーマーケットなど） 災害時は避難場所、仮設住宅用敷地に活用 （将来のための）空飛ぶ車の発着場スペース 	約1,450㎡	⑪水遊び広場と⑫大型遊具とは別途計上
	⑭ドッグラン	<ul style="list-style-type: none"> 小型犬・大型犬のエリア分け インターパークなどのペットショップとの連携 ペット同伴可能な休憩所・避難所の併設 	約1,500㎡	「道の駅 あがつま峡」のドッグランを参考
滞在機能	⑮RVパーク	<ul style="list-style-type: none"> RVパークを拠点とした周辺観光 災害時には車中泊避難所として活用 	約420㎡	10台のRVパークを想定 「日本RV協会」より、RVパーク1台当たりの面積は28㎡と設定 「駐車場設計・施工指針 同解説（H4.11（公社）日本道路協会）」より車路は7mと設定
災害支援機能	⑯コンテナハウスの活用	<ul style="list-style-type: none"> コンテナハウスを活用したシャワー室（水遊び広場利用者や、トラックドライバーの利用を想定） コンテナハウスを活用したチャレンジショップ 災害時には避難所などでの活用 	約200㎡	5台のコンテナの設置を想定 「道の駅 前橋赤城」のコンテナ広場（6台で260㎡）を参考
その他	⑰駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 24時間利用可能な駐車場 	約23,000㎡	新4号国道の交通量より算出（大型：78台、小型車：576台）
	⑱調整池		約10,000㎡	
	⑲緑地			敷地形状に併せて整備
想定建物面積			4,381㎡	
導入施設面積 計			41,601㎡	

2. 導入施設の事例

事例

農産物直売所

(仮称) 道の駅かみのかわにおける今回想定面積：900㎡

道の駅 しもつけ

登録年：平成22年
設置路線：新4号国道
所在地：栃木県下野市
駐車台数：大型78台、小型316台
敷地面積：約3.3ha
農産直売所面積：約760㎡



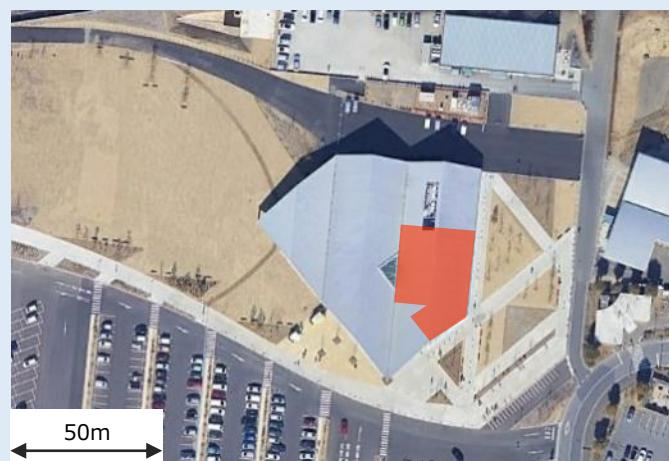
施設の概要

- 常時80種類程度の農産物を販売
- 定期的に道の駅の新鮮食材を使用した料理教室を開き、地場産の良さを伝えている



道の駅 しょうなん

登録年：平成12年
設置路線：県道8号
所在地：千葉県柏市
駐車台数：大型29台、小型367台
敷地面積：約4ha
農産直売所面積：約680㎡



施設の概要

- 知産知消マルシェは「農・食・健康」をコンセプトに、地元新鮮野菜をはじめ、農産物を使用した加工品やお惣菜を販売
- 毎日100種類以上の新鮮な農産物が並んでいる



事例

おさかな市場

(仮称) 道の駅かみのかわにおける今回想定面積：300㎡

道の駅 前橋赤城

登録年：令和4年
設置路線：国道17号
所在地：群馬県前橋市
駐車台数：大型75台、小型414台
敷地面積：約7.1ha
鮮魚センター：約400㎡



施設の概要

- 太平洋と日本海の漁港の真ん中に位置するため、それぞれの旬の魚を楽しめる
- 新鮮な魚を使用したオリジナル商品を独自に開発し提供



道の駅 日立おさかなセンター

登録年：平成24年
設置路線：国道245号
所在地：茨城県日立市
駐車台数：大型5台、小型98台
敷地面積：約2.3ha
第3センター：約540㎡



施設の概要

- 第1、2、3のセンターがあり、第3センターには魚を販売・調理している店と海鮮料理を提供する店の2店舗がある
- 海産物販売店2店舗、お食事処8店舗、青果店1店舗



2. 導入施設の事例

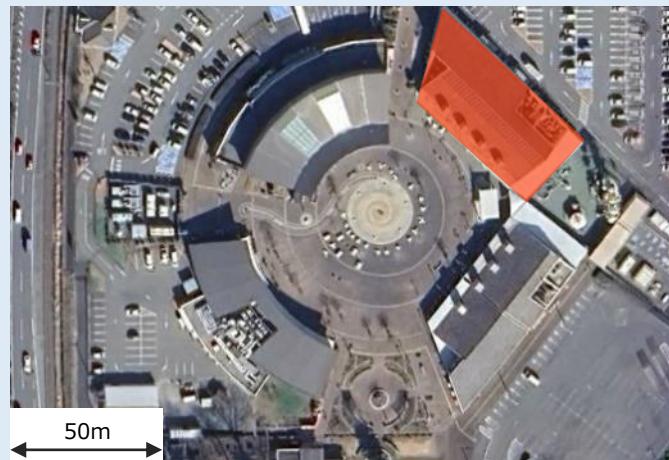
事例

レストラン・カフェ

(仮称) 道の駅かみのかわにおける今回想定面積：800㎡

道の駅 ららん藤岡

登録年：平成11年
設置路線：国道13号
所在地：群馬県藤岡市
駐車台数：大型10台、小型343台
敷地面積：5ha
グルメプラザ北館：約1,340㎡



施設の概要

- 地元の新鮮な食材を使った種類豊富なご飯が楽しめる
- スイーツ、蕎麦、ラーメン、海鮮等施設内で6店舗の飲食店が運営

道の駅 まくらがの里こが

登録年：平成17年
設置路線：国道4号
所在地：茨城県古河市
駐車台数：大型35台、小型193台
敷地面積：約4.1ha
地産地消フードコート：約548㎡



施設の概要

- 開放的なフードコートで地場の新鮮食材を使ったグルメを楽しむことができる
- 丼もの、ラーメン、うどん、蕎麦、カレー等を提供

事例

休憩・情報発信施設

(仮称) 道の駅かみのかわにおける今回想定面積：250㎡

道の駅 かさま

登録年：令和3年
設置路線：国道355号
所在地：茨城県笠間市
駐車台数：大型16台、小型408台
敷地面積：約3.5ha
デジタル観光案内：約60㎡



施設の概要

- 観光案内所から別拠点のサインージ上のアバターを遠隔操作するバーチャル観光案内システムを導入
- 地域の魅力を効率的に来訪者に発信することができる

道の駅 おかべ

登録年：平成8年
設置路線：国道17号
所在地：埼玉県深谷市
駐車台数：大型16台、小型264台
敷地面積：約2.5ha
情報センター：約130㎡



施設の概要

- 道の駅周辺の観光情報に加え、ナビゲーションシステムによる道路情報を発信
- 無料WiFiが利用可能

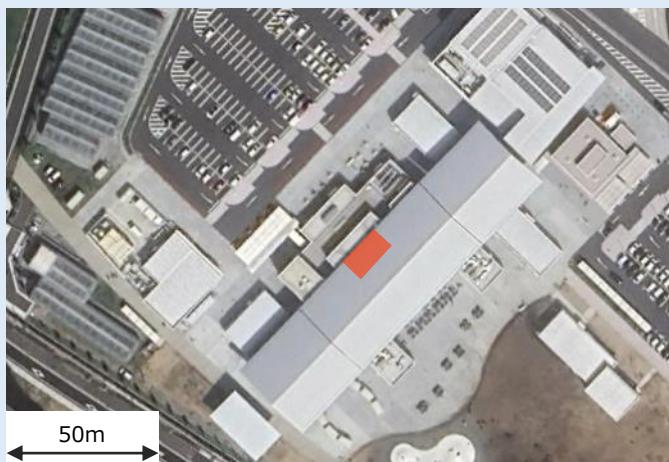
2. 導入施設の事例

事例 地域デザインセンター

(仮称) 道の駅かみのかわにおける今回想定面積：120㎡

道の駅 前橋赤城

登録年：令和4年
設置路線：国道17号
所在地：群馬県前橋市
駐車台数：大型75台、小型414台
敷地面積：約7.1ha
会議室：約140㎡



施設の概要

- 会議や研修、地域の行事、展示会、商談会の開催に利用
- 全4部屋があり、つなげて利用することで最大70名規模の会議が開催可能



道の駅 開国下田みなと

登録年：平成15年
設置路線：国道135号
所在地：静岡県下田市
駐車台数：大型13台、小型207台
敷地面積：約1.6ha
会議室1：約40㎡（約16人収容可）



施設の概要

- 集客を目的としたイベントを開催する場合、道の駅HPでの告知が可能
- 会議室3部屋、市民ギャラリー3部屋、リモートワーク用の個室を設置



事例 折り紙教室（発信拠点）

(仮称) 道の駅かみのかわにおける今回想定面積：100㎡

道の駅 東山道 伊王野

登録年：平成11年
設置路線：国道295号
所在地：栃木県那須郡那須町
駐車台数：大型5台、小型132台
敷地面積：2.1ha
そば打ち体験施設：約150㎡



施設の概要

- 地元産のそば粉を使用し、地域の風味や特性を感じることができる
- そば打ち名人を講師として、定期的開催（3,410円/人）



道の駅 前橋赤城

登録年：令和4年
設置路線：国道17号
所在地：群馬県前橋市
駐車台数：大型75台、小型414台
敷地面積：約7.1ha
調理室：約120㎡



施設の概要

- 学校の調理自習や自治会、育成会の料理教室に利用できる
- 調理台が6台あり、最大36名が同時に使用可能



2. 導入施設の事例

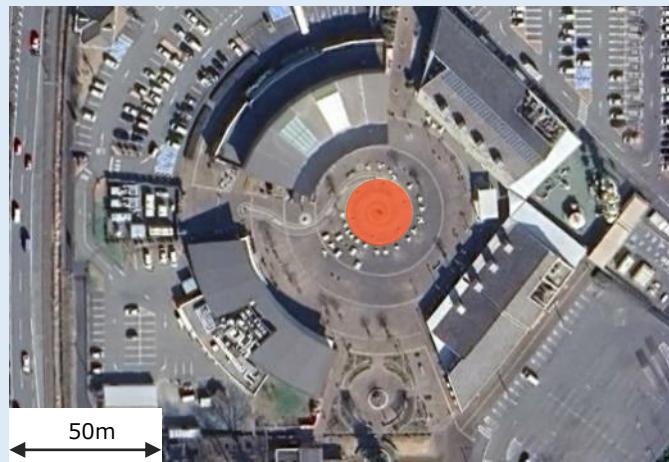
事例

水遊び広場

(仮称) 道の駅かみのかわにおける今回想定面積：300㎡

道の駅 ららん藤岡

登録年：平成11年
設置路線：国道13号
所在地：群馬県藤岡市
駐車台数：大型10台、小型343台
敷地面積：5ha
水遊び広場：約320㎡



施設の概要

- 水遊び場の近くには休憩できるベンチやパラソルを設置
- 冬場はイルミネーションが開催される



道の駅 南魚沼

登録年：平成24年
設置路線：国道17号
所在地：新潟県南魚沼市
駐車台数：大型6台、小型152台
敷地面積：約4ha
水遊び広場：約480㎡



施設の概要

- 水深30cmで小さい子どもから無料で利用可能
- 開放時間 9:00~17:00 (冬季利用不可)



事例

大型遊具

(仮称) 道の駅かみのかわにおける今回想定面積：250㎡

道の駅 川場田園プラザ

登録年：平成8年
設置路線：県道64号
所在地：群馬県利根郡川場村
駐車台数：大型5台、小型850台
敷地面積：約6ha
大型遊具 (HANETTA)：約1,300㎡



施設の概要

- 田園風景を眺めながら子供も大人も自分のペースで楽しめるネットアスレチック
- 大人1700円、小中学生1500円、未就学児1000円



道の駅 柿の郷くどやま

登録年：平成25年
設置路線：県道4号
所在地：和歌山県伊都郡九度山町
駐車台数：大型3台、小型119台
敷地面積：約0.95ha
アミューズメント広場：約350㎡



施設の概要

- 道の駅敷地内に大型遊具を整備
- 柔らかい素材で舗装されており、安心して遊ぶことができる



2. 導入施設事例

事例

イベント広場

(仮称) 道の駅かみのかわにおける今回想定面積：1,450㎡

道の駅 希来里あさひ

登録年 : 平成8年
設置路線 : 旭市道1級59号線
所在地 : 千葉県旭市
駐車台数 : 大型 : 10台 小型148台
敷地面積 : 約1.5ha
イベント広場 : 約1,200㎡

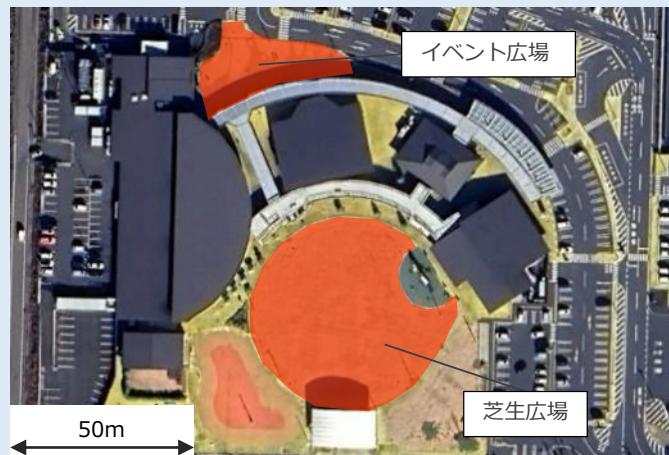


施設の概要

- 季節に応じた特別なイベントが開催される
- 砂浜をイメージしたイベント広場

道の駅 グランテラス筑西

登録年 : 平成31年
設置路線 : 国道50号
所在地 : 茨城県筑西市
駐車台数 : 大型 : 43台 小型318台
敷地面積 : 約4.8ha
イベント広場 : 約720㎡
芝生広場 : 約2,700㎡



施設の概要

- イベント広場では定期的に出店が並んでいる
- 芝生広場には屋外ステージが整備されており、音楽イベントなどが開催されている

事例

ドッグラン

(仮称) 道の駅かみのかわにおける今回想定面積：1,500㎡

道の駅 あがつま峡

登録年 : 平成26年
設置路線 : 東吾妻町道5284号線
所在地 : 群馬県吾妻郡東吾妻町
駐車台数 : 大型 : 10台 小型43台
敷地面積 : 約5.2ha
ドッグラン : 約1,500㎡



施設の概要

- ドッグランは広いエリアが確保されており、犬たちが自由に走り回るのに十分なスペースがある
- 多数のアジリティ器具も設置されている

道の駅 前橋赤城

登録年 : 令和4年
設置路線 : 国道17号
所在地 : 群馬県前橋市
駐車台数 : 大型75台、小型414台
敷地面積 : 約7.1ha
ドッグラン : 約2,500㎡



施設の概要

- 小型犬エリアと中・大型犬エリアを設置
- 無料で利用可能
- 開放時間 9:00~18:00

3. 導入施設から想定される利用シーン

観光プランに組み込まれる道の駅

20代女性：県外からの観光客

- 本県への日帰り旅行の際、道の駅に立ち寄り、**カフェ**で休憩をはさみながら、写真映えする地域の特産物を堪能
- 休憩後、**折り紙教室**を体験し地域の特色に触れる
- 最後に**農産物直売所**等にて、自分や家族のお土産を購入し、次の目的地へ移動



トラック運転手が業務中休憩できる道の駅

20代～50代男性：トラック運転手

- 産業団地へ製品を届ける際、届け先が指定した時間まで**大型駐車場**で待機
- 待機中、**トイレ**休憩と**レストラン**で食事をする
- 北関東自動車道を使った長距離輸送中、休憩のため**大型駐車場**に駐車
- 休憩中、**コンテナハウス**でコインシャワーを利用後、**コンビニ**で軽食を購入
- 出発前、**情報発信施設**にて道路情報を取得



大学の研究拠点に加えて娯楽も楽しめる道の駅

20代男性：県内の大学に通う大学生

- 休日、**地域デザインセンター**で大学の研究活動に参加
- 研究活動後、**イベント広場**でフリーマーケットの買い物やキッチンカーで食事、**日産名車展示**ブースで新型モデルを体験
- 最後に**カフェ**を利用して勉強



子育てに優しい道の駅

20代～40代女性：子供を持つ地域内の女性

- 親子で**レストラン**で昼食を済ませた後、**地域デザインセンター**で子育て世代の交流を深める
- 子供たちを**水遊び広場**や**大型遊具**で遊ばせる
- 子供たちを遊ばせている間は、**カフェ**で飲み物を購入し子供たちが見える**ベンチ**で休憩
- 帰りに**農産物直売所**や**おさかな市場**で買い物



ゆったりとした時間を過ごせる道の駅

50代～60代夫婦：子育てがひと段落し、自分時間を楽しむ夫婦

- 昼食は夫やお友達と道の駅内の**レストラン**で食事
- 地元産の新鮮な農産物や農産物の加工品などを求め、**農産物直売所**等で購入
- 長い時間滞在できる**カフェ**などでおしゃべり
- 犬と一緒に入れる**休憩所**や**ドックラン**で遊ぶことで様々な人と交流
- **日産名車展示**で懐かしの車を鑑賞



平日も日常的に利用される道の駅

20代～40代男性：近隣の産業団地で働いている従業員

- 入社時に**コンビニ**に立ち寄り、お昼ご飯を購入
- お昼に時間の余裕がある日は**レストラン**で食事
- 仕事の休憩時に気分転換として道の駅内の**広場**で休憩
- 仕事が早く終わった日は、頼まれたおつかいを道の駅内の**農産物直売所**ですませる



参考資料. 管理運営者変更の事例

		道の駅 湧水の郷しおや	道の駅 とみざわ	道の駅 はくしゅう	道の駅 とみうら	道の駅 やちよ	道の駅 おがわまち	道の駅 たかねざわ	道の駅 サシバの里いちかい		
所在地		栃木県 塩谷郡塩谷町	山梨県 南巨摩郡南部町	山梨県 北杜市	千葉県 南房総市	千葉県 八千代市	埼玉県 比企郡小川町	栃木県 高根沢町	栃木県 芳賀郡市貝町		
登録年月日		H24.3.26	H5.4.22	H12.8.18	H5.4.22	H8.4.16	H5.4.22	R1.6.19	H26.4.4		
設置路線		国道461号	国道52号	国道20号	国道127号	国道16号	国道254号	町道434号線	(主)宇都宮茂木線		
駐車台数		大型車：6台 小型車：95台 身障者用：3台	大型車：12台 小型車：45台 身障者用：2台	大型車：4台 小型車：71台 身障者用：2台	大型車：15台 小型車：64台 身障者用：4台	大型車：10台 小型車：204台 身障者用：5台	大型車：7台 小型車：96台 身障者用：4台	大型車：11台 小型車：334台 身障者用：5台	大型車：12台 小型車：161台 身障者用：3台		
指定 管理者	旧	名称	塩谷町	南部町商工会	道の駅 はくしゅう 管理運営組合	農家有志の 任意団体	株式会社 とみうら	やちよ農業の輪 共同企業体	不明	塚原緑地研究所	市貝町
		分類	公共	その他 (NPO等)	その他 (NPO等)	民間	第三セクター	その他 (NPO等)	不明	民間	公共
	新	名称	テルウェル東日本 株式会社	株式会社 みいと市場	農家有志の 任意団体	株式会社 アルプス	株式会社 ちば南房総	株式会社やちよ リーダーファーマーズ	TTC・ アイルグループ	未定	株式会社 サシバの里 いちかい
		分類	民間	民間	民間	民間	第三セクター	民間	民間	第三セクター	第三セクター
変更時期		R6.4.1	R3.10.1	R1.7.1	R4.3.1	H24.10.1	H30.4.1	R4.10.3	未定	H31.4.1	
変更理由		管理業務の効率化	経営不振を理由 に指定管理者辞 退申し出により	納入金を遅延	不明	経営基盤、 収益力の強化	指定管理者である共同 企業体の構成員の脱退 に伴う指定管理者とな る団体の変更	施設の老朽化、 利用者減少に伴う 再整備	プレゼンテーショ ンの内容と実施内 容の不一致	経済性、効率性を 上げるため	